

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ブロッコリー

コード番号 2706 URL <http://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 知治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-5372-6322

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	3,315	57.5	1,079	192.9	1,079	193.4	983	156.3
25年2月期第2四半期	2,105	△39.0	368	28.4	367	31.9	383	139.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	30.06	30.06
25年2月期第2四半期	11.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	3,742	2,584	69.1
25年2月期	2,687	1,795	66.8

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 2,584百万円 25年2月期 1,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	9.00 ～10.00	9.00 ～10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年2月期における配当予想の詳細につきましては、本日付で公表いたしました「業績予想及び配当予定の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900 ～6,200	34.9 ～41.8	1,500 ～1,650	79.8 ～97.7	1,500 ～1,650	79.9 ～97.9	1,350 ～1,500	53.8 ～70.9	41.24 ～45.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料]4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期2Q	32,738,211 株	25年2月期	32,726,211 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年2月期2Q	694 株	25年2月期	694 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	32,732,995 株	25年2月期2Q	32,712,530 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果に対する期待感から、円安や株高が進行し景気回復の兆しが一部で見られているものの、将来の消費税増税予測のある中、所得環境の改善は鈍く、個人レベルでの景気回復を実感できない状況が続いております。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、引き続き底堅い市場を維持しておりますが、コンテンツ関連は、スマートフォン・タブレット端末の充実も重なり、国内ソーシャルゲーム・モバイルコンテンツ市場が依然として拡大基調にあります。この一方で、家庭用ゲーム市場につきましては、新型ハード機の詳細が発表されたことで、縮小基調の市況に変化が期待され、企業間競争はますます激化しております。

当社は、かかる経営環境下において、収益力の更なる向上の実現に向けて、①リアルグッズの拡大 ②『うたの☆プリンスさまっ♪』の”ムーブメント化”への推進 ③カードゲーム『Z/X(ゼクス)』の拡大 ④マーケティングの一層の強化 ⑤従業員のモチベーション向上と、緊急事態におけるBCP(ビジネス・コンティニューイティ・プラン)の強化を今期の課題とし、「自社内にて開発するコンテンツのヒット創出及びハイリターンの追求」、「リアルグッズ製作での確実な収益確保」の2つを両立する事業戦略(ツインエンジン化)を推進してまいりました。

このような状況下、当第2四半期累計期間の売上高は3,315百万円(前年同期比157.5%)、売上総利益率は51.8%(前年同期比11.0ポイントアップ)、売上総利益は1,717百万円(前年同期比199.9%)となりました。

この主な要因としましては、以下のとおりとなります。

ゲーム部門につきましては、平成25年8月に出荷を開始いたしました『うたの☆プリンスさまっ♪MUSIC2』が、9月19日売り号の週刊ファミ通売上ランキング第1位を獲得するなど、大変好調であり、同年2月より出荷を開始しておりました『うたの☆プリンスさまっ♪All Star』をはじめ、関連作品のバックオーダーも好調に推移いたしました。CD部門につきましては、平成25年4月からの当社ゲームソフト『うたの☆プリンスさまっ♪』を原作としたTVアニメ第2期『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVE2000%』の放映に伴い、5月から6月にかけてリリースいたしました『うたの☆プリンスさまっ♪マジLOVE2000%アイドルソング』シリーズ計7作が全作品週間オリコンランキングTOP10入りを達成する大変好調な売上であり、ゲーム・CDの両部門ともに期初計画を上回ることができました。カードゲーム部門につきましては、平成24年7月から発売し、平成25年7月に第5弾『霸王の凱歌』を発売いたしましたトレーディングカードゲーム『Zillions of enemy X(ジリオンズ オブ エネミー エックス)：略称Z/X(ゼクス)』シリーズの売上が好調であり、期初計画を大幅に上回りました。また、グッズ部門につきましても、当社女性向けコンテンツ『うたの☆プリンスさまっ♪』関連グッズが好調であり、他社男性向けコンテンツのヒットにも恵まれ、ライセンスを受けたグッズも好調でした。

販売費及び一般管理費につきましては、販売手数料や賞与引当金繰入額等の増加等により、637百万円(前年同期比130.0%)となりました。

この結果、営業利益は1,079百万円(前年同期比292.9%)、経常利益は1,079百万円(前年同期比293.4%)、四半期純利益は983百万円(前年同期比256.3%)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は3,393百万円で、前事業年度末に比べ950百万円増加しております。現金及び預金の増加474百万円、売掛金の増加332百万円、商品及び製品の増加76百万円、仕掛品の増加67百万円が主な要因であります。

## (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は348百万円で、前事業年度末に比べ103百万円増加しております。長期預金の増加100百万円が主な要因であります。

## (流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,013百万円で、前事業年度末に比べ268百万円増加しております。買掛金の増加130百万円、未払金の減少45百万円、未払法人税等の増加94百万円、返品調整引当金の増加10百万円、賞与引当金の増加90百万円、役員賞与引当金の減少9百万円が主な要因であります。

## (固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は143百万円で、前事業年度末に比べ4百万円減少しております。リース債務の減少4百万円が主な要因であります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は2,584百万円で、前事業年度末に比べ789百万円増加しております。これは、四半期純利益983百万円が計上された一方で、配当金の支払196百万円が行われたことが主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末と比べて574百万円増加し1,828百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは786百万円の資金の増加(前年同四半期累計期間は264百万円の資金の増加)となりました。その主な内訳は、売上債権の増加額333百万円、たな卸資産の増加額146百万円などのマイナス要因と、税引前四半期純利益1,079百万円、仕入債務の増加額130百万円などのプラス要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは12百万円の資金の減少(前年同四半期累計期間は485百万円の資金の減少)となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出8百万円、敷金及び保証金の差入による支出2百万円などのマイナス要因であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは198百万円の資金の減少(前年同四半期累計期間は118百万円の資金の減少)となりました。その主な内訳は、配当金の支払額193百万円であります。

## (3)業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期におきましては、更なる事業及び収益の拡大を図る具体的戦略として、第一に、安定した売上高と売上総利益率が見込める自社リアルグッズ製品を強固な収益基盤とすべく、綿密なマーケット検証及び分析、顧客セグメント別の戦略策定と実行、新アイテムの開発強化、ユーザーの共感が得られる価値あるモノ作り力の向上を図ることにより収益性の拡大を図ってまいります。

ゲームソフトにつきましては、『うたの☆プリンスさまっ♪』の”ムーブメント化”に向けてうたプリの持つ魅力を更にスケールアップさせ、ユーザーと共有することで、コンテンツ価値最大化”ムーブメント化”を目指してまいります。

カードゲームにつきましては、『Zillions of enemy X(ジリオズ オブ エネミー エックス) : 略称Z/X(ゼクス)』を新たな収益基盤としていく為に、更なるユーザー数拡大を図ってまいります。

第二に、経費につきましても選択と集中を図り、コスト管理強化に取り組んでまいります。

以上の施策等により、通期業績予想及び配当予定につきましては、サマリー情報記載のとおりレンジ形式での表示といたします。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,553,799	2,028,548
売掛金	600,999	933,784
商品及び製品	50,684	126,724
仕掛品	40,096	107,343
原材料及び貯蔵品	1,839	5,438
その他	196,193	191,991
貸倒引当金	△571	—
流動資産合計	2,443,041	3,393,830
固定資産		
有形固定資産	32,835	32,669
無形固定資産	57,658	55,610
投資その他の資産		
その他	156,424	262,556
貸倒引当金	△2,012	△2,488
投資その他の資産合計	154,412	260,067
固定資産合計	244,906	348,347
資産合計	2,687,948	3,742,178
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	256,461	387,046
未払金	216,375	170,981
未払法人税等	7,882	102,849
返品調整引当金	37,152	48,094
賞与引当金	21,749	111,794
役員賞与引当金	36,000	26,155
その他	169,148	166,828
流動負債合計	744,769	1,013,749
固定負債		
その他	147,957	143,708
固定負債合計	147,957	143,708
負債合計	892,727	1,157,458

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,923	331,775
資本剰余金	36,275	37,127
利益剰余金	1,427,937	2,215,468
自己株式	△81	△81
株主資本合計	1,795,054	2,584,289
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	166	430
評価・換算差額等合計	166	430
純資産合計	1,795,220	2,584,720
負債純資産合計	2,687,948	3,742,178



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	2,105,103	3,315,809
売上原価	1,245,996	1,598,348
売上総利益	859,107	1,717,460
販売費及び一般管理費	490,483	637,694
営業利益	368,624	1,079,765
営業外収益		
受取利息及び配当金	135	661
その他	227	272
営業外収益合計	362	934
営業外費用		
支払利息	965	1,071
その他	64	85
営業外費用合計	1,029	1,157
経常利益	367,956	1,079,542
特別利益		
事業譲渡損失引当金戻入額	24,122	—
特別利益合計	24,122	—
特別損失		
固定資産除却損	1,530	2
特別損失合計	1,530	2
税引前四半期純利益	390,548	1,079,540
法人税等	6,656	95,656
四半期純利益	383,892	983,884

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	390,548	1,079,540
減価償却費	7,926	12,785
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△95	△95
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,232	90,045
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,800	△9,844
返品調整引当金の増減額(△は減少)	8,851	10,942
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	△24,122	—
受取利息及び受取配当金	△135	△661
支払利息	965	1,071
固定資産除売却損益(△は益)	1,530	2
売上債権の増減額(△は増加)	△69,173	△333,284
たな卸資産の増減額(△は増加)	30,705	△146,886
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,532	130,584
その他	△94,046	△43,521
小計	272,854	790,676
利息及び配当金の受取額	135	661
利息の支払額	△965	△1,071
法人税等の支払額	△7,729	△3,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,295	786,382
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△400,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△1,767	△8,040
無形固定資産の取得による支出	△840	△1,511
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,754
事業分離に伴うポイント精算による支出	△82,068	—
その他	△373	△663
投資活動によるキャッシュ・フロー	△485,050	△12,969
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
株式の発行による収入	—	1,704
配当金の支払額	△111,409	△193,155
リース債務の返済による支出	△6,934	△7,212
自己株式の取得による支出	△60	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,404	△198,663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△339,159	574,749
現金及び現金同等物の期首残高	1,273,984	1,253,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	934,825	1,828,548

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。